

CADPAC-CREATOR 3D V6.5 新機能

作図／形状修正

- 板金フランジ作成（作図：ソリッドフィーチャ：板金フランジ作成）
フランジを作成し、ソリッドの平面を軸で回転することができます。
- パーティンング面（作図：拡張サーフェス：パーティンング面）
パートの面を二等分にして、パーティンング面を作成します。
- 直線／円弧／円の以下のオプションで複数の数値入力可
下記コマンドで複数の数値入力ができるようになりました。
 - ・ 作図：直線：平行線・距離指定
 - ・ 作図：円弧：中心半径
 - ・ 作図：円弧：中心直径
 - ・ 作図：円弧：円弧オフセット・距離指定
 - ・ 作図：円：中心半径
 - ・ 作図：円：中心直径
- ブレンド：徐変改良（作図：ソリッドフィーチャ：ブレンド：徐変）
オプションに機械加工（ローリングボール）とワイヤ放電加工（スライディングディスク）が追加になりました。
- フィーチャ検出の改良（作図：ソリッドフィーチャ：フィーチャ検出）
フィーチャのマスク選択ダイアログボックスで面取りオプションが追加になりました。
- 遠方照明／局部照明／スポットライトの改良（作図：照明：遠方照明／局部照明／スポットライト）
ライトの要素を同時に作成することができます。さらにオプションが追加されました。
- 面取り編集（形状修正：フィーチャ：面取り編集）
面取り編集機能が新しく形状修正に追加されました。
- グラフト（植え込み）の改良（形状修正：ブーリアン：グラフト（植え込み））
グラフトオプションダイアログボックスにオプションを追加しました。
- 寸法連動編集の改良（形状修正：寸法連動編集）
寸法連動編集機能を使って、基準寸法、角度寸法、自動ラベル穴、座標寸法、面取り寸法、弧長寸法の値を変更することにより、ソリッドを編集することが出来るようになりました。

変換

- **CATIA V5 書出し（ファイル：書き出し：CATIA V5）**
CATIA V5 ファイルへの書き出しがサポートされました。
- **U3D 書出し（ファイル：書き出し：U3D）**
U3D ファイルへの書き出しがサポートされました。
- **STL 読み込みの改良（ファイル：読み込み：STL）**
STL 読み込みオプションダイアログボックスにオプションが追加されました。
- **ACIS SAT, IGES, Parasolid, CATIA V4 書出しの改良**
ACIS SAT、IGES、Parasolid、CATIA V4 書き出し時のオプションダイアログに、オプションが追加されました。
- **IGES 書出しの改良（ファイル：書き出し：IGES）**
処理経過ダイアログが表示されるようになりました。
- **PDF 書出しで 3D をサポート（ファイル：書き出し：PDF）**
書き出し時に 2D/3D を指示できるようになりました。
- **一括変換の改良（ファイル：一括変換）**
一括変換ダイアログにオプションが追加されました。

寸法

- **寸法：円弧寸法：弧長寸法**
曲線の長さを表示させる寸法を作成することができます。円弧、円、スプライン、NURBS スプラインとコニックをサポートします。
- **キー入力の改良（寸法：注記：キー入力）**
寸法：注記：キー入力のフィールドボタンの項目リストにユーザプロパティ（区切り）とファイルユーザプロパティ（区切り）が追加されました。
- **設定パラメータダイアログボックスの改良（寸法：設定：パラメータ）**
寸法：設定：パラメータ と 汎用編集時の寸法設定ダイアログボックスは、より総合的な寸法設定ダイアログボックスにかわりました。

ツール

- **ツール：部品表(BOM)：BOM 自動ラベル**
部品のラベルを自動作成します。ラベルには、リファレンスドパートまたは合成要素から抽出されたデータを表示します。
- **周長の改良（ツール：要素確認：周長）**
周長計算が、シート物体とソリッドの面でも可能になりました。
- **面積・図心の改良（ツール：要素確認：面積・図心）**
面積・図心計算が、ソリッド、シート物体、ソリッドの面でも可能になりました。
- **ボディの単純化の改良（ツール：メンテナンス：ボディの単純化）**
複数のソリッドとシート物体の選択が可能になりました。
- **部品表作成の改良（ツール：部品表(BOM)：部品表作成）**
部品表にリファレンス名を使用できるようになりました。
- **アンチエイリアスオプションの改良（ツール：オプション：表示）**
アンチエイリアスの品質を選択できるようになりました。さらにアンチエイリアスを適用する要素を指示できるようになりました。
- **点のサイズオプションの追加（ツール：オプション：表示）**
ビューポートに表示される点要素の大きさを設定します。
- **透明の断面ビューとセクション断面を表示オプションの追加（ツール：オプション：表示）**
ビューポートに断面ビューやセクション断面が表示されます。
- **印刷する点のサイズ指定オプションの追加
（ツール：オプション：プリンタ/プロッタ：設定編集：任意）**
あらかじめ指定していた点のサイズか、キー入力で指定したサイズで印刷を実行することができるようになりました。

表示

- **表示：セクション断面**
モデルに複数の切断面を生成および配置することができ、同時に切り取りを実行もできます。
- **表示：スライス断面**
モデルからスライス断面（薄切り断面）を抽出します。
- **ビューポート自動分割の改良（表示：ビューポート自動分割）**
クイックアイズーム機能、クイックキー機能を使用してビューポートのレイアウト作成を実行する場合、断面ビューを含むビューポートのレンダリング設定を新しく分割表示される残り 3 つのビューポートにも反映します。

- **表示するレベル番号の入力でセミコロン使用が可能（表示：レベル：表示）**
「表示するレベル番号を入力」の区切り記号としてセミコロン(;)の使用が可能になりました。
- **断面ビューの改良（表示：断面ビュー）**
断面ビュー機能にオプションボタンを追加しました。これにより、複数の断面ビューを作成することができます。

編集／複写移動

- **編集：要素：材質のレンダリングプロパティ設定**
旧バージョンの「面のカラー設定」、「透明度設定」、「テクスチャ設定」、「材質設定」コマンドは新バージョンでは「材質のレンダリングプロパティ設定」に集約されました。
- **編集：要素：材質のレンダリングプロパティ設定解除**
材質のレンダリングプロパティ設定解除が編集機能の中に追加されました。
- **編集：要素：材質の物理プロパティ設定**
ファイル：プロパティ：材質の物理プロパティタブページと同じ内容です。
- **汎用編集の改良（編集：要素：汎用編集）**
汎用編集で多面体化調整が可能になりました。
- **汎用移動の改良（編集：要素：汎用移動）**
照明要素の移動設定ダイアログボックスが表示されるようになりました。
- **絶対移動のサブコマンドが追加（複写移動：絶対移動）**
複写移動：絶対移動に以下のコマンドが新規で追加されました。
 - ・基準位置 移動
 - ・基準位置 コピー
 - ・基準位置 掃引
 - ・回転位置 移動
 - ・回転位置 コピー
 - ・回転位置 掃引

アセンブリ

- **アセンブリ：アセンブリ置換え**
同一ソリッド物体のリファレンスを自動作成します。
通常のパートファイルをパートリファレンスを持つアセンブリファイルに変換します。同一のソリッド物体を検出し、ソリッドからパートを作成してリファレンスとして参照します。
- **アセンブリ：透明度設定**
パートリファレンスの透明度を設定します。

全般／他

- パーツプリッタウィンドウの改良
 - ・ レベルセット項目とレベルセットタブページの追加
 - ・ 材質タブページの追加
 - ・ 参照ファイル、参照パート列にブラウザボタンの追加
- ファイル：プロパティ：材質の物理プロパティタブ
ファイル:プロパティに材料の物理プロパティタブが追加されました。そのパート内でマスプロパティの計算をする時には、このダイアログボックスでその時設定したパラメータが適用されます。
- 寸法入力可能な輪郭線を作成オプションの追加（レイアウト：投影図作成）
投影図作成ダイアログボックスに、寸法入力可能な輪郭線を作成オプションが追加されました。
- ウィンドウ：次のビューポート／前のビューポート
複数のビューポート表示で、アクティブなビューポートを次／前と切替えることができます。

KXL

- サポートするファンクションの追加
V6.5でサポートされた KXL ファンクションについては、KXL ヘルプ（英語版）の「What's New」をご覧ください。

拡張機能

- CDE プログラムの追加
拡張機能でロードできる CDE プログラムに「KQwinCommand.cde」と「sp_menu.cde」が追加されました。詳細については、別途マニュアルをご覧ください。

● 外部変換の正式対応バージョン

ファイル形式	サポートバージョン	データ変換	アセンブリファイルの読込
ACIS	1.5 - R16 まで	読込&書出	該当せず
CATIA V4	4.1.9 - 4.2.4	読込&書出	No
CATIA V5	V5 R2 - V5 R17	読込	Yes
	V5 R6 - V5 R17	書出	該当せず
DWG/DXF	AutoCAD 2007 まで	読込	
	R12 (AutoCAD R12/LT2) R13 (AutoCAD R13/LT95) R14 (AutoCAD R14/LT98/LT97) R15 (AutoCAD 2000/LT2000) R18 (AutoCAD 2004,2005,2006)	書出	No
IGES	5.3 まで	読込	Yes
	5.3	書出	該当せず
Autodesk Inventor	6 - 11	読込	No
Parasolid	10.0 - 18.0.141	読込	Yes
	12.0 - 18.0.141	書出	該当せず
Pro/E	16 - 2001, Wildfire1 - 3	読込	Yes
Solidworks	96 - 2007	読込	Yes
STEP	AP203, AP214	読込	Yes
	AP203, AP214	書出	該当せず
Unigraphics	11 - 18 , NX1 - 4	読込	Yes
CADL 19	ImageModelor まで	書出	該当せず

上位バージョンで作成した KeyCreator のファイルは、下位バージョンで開くことはできません。